

その いずみの園だより 49

vol

2008.12.14
IZUMINOSONO

信望愛



それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。
その中で最も大きいものは愛である。 コリントの信徒への手紙Ⅰ 13:13



神と人々に仕えるキリスト教の愛と奉仕の精神を基本理念とする

基本理念

- Amenity** アメニティ(快適主義) 快適なサービス、快適な環境、笑顔のサービス提供を行う。
- Humanity** ヒューマニティ(人間主義) 心と体の自由を尊重、一人ひとりの個性を大切にサービスを提供を行う。
- Locality** ローカリティ(地域主義) 地域と共の歩み、地域の福祉拠点としての役割を果たす。

- 介護老人福祉施設いずみの園(特養)
- いずみの園ショートステイサービス
- グループホーム ベテルハウス
- ケアマンション聖愛ホーム(ケアハウス)
- シニアレジデンス いずみの森
- クリニック いずみ
- リハビリセンター いずみ
- いずみの園訪問看護ステーション
- いずみの園ホームヘルプステーション
- シルバーハウジング事業
- いずみの園デイサービスセンター
- かきざサポートセンター
- 障害者デイサービス事業
- 生きがいデイサービス事業
- いずみの園児童クラブ ピーター
- いずみの園介護保険サービスセンター
- 地域包括支援センターいずみの園
- 障害者生活支援センター エマオ
- 大分県地域介護実習・普及センターいずみの園

ISO 9001 認定取得



2002年3月26日
高齢者介護及び
リハビリテーションサービス

クリスマスを迎えて



介護保険総合ケアセンター
いずみの園
チャブレン
堤 健生

「マリアは月が満ちて初めての子を産み、
布にくるんで飼葉おけに寝かせた」
ルカ2章

クリスマスのときがやって参りました。街
のお店はクリスマス商戦で大賑わいでしょ
う。私たちの園で毎年繰り返される風景です。
クリスマスは何を私達に語っているのだ
でしょうか。聖書は赤ん坊のイエス様が馬小屋
で生まれたことをそとと語っています。

赤ん坊をじっと見つめて、人は自分もまた
かつて両親のもとに生まれたことを思いま
す。赤ん坊は育てることに手がかりです。
しかし赤ん坊を見るとき自分もまたそのよ
うに両親や大人、多くの人々の手をかけられ
て育て上げられたことを思います。

クリスマスのときを迎えて、自分が多くの
人々のお世話によって成長して今ある
ことを思います。人の生まれは一
回限りですが、クリスマス
は毎年繰り返されま
す。私たちは一度限
りの人生を生きていま
すが、クリスマスが来るたび
に、どれ程自分は手をかけて大
きくしてもらったか、そこにどれ程し
沢山の人のやさしさがああり愛の心が与
えられたかを思います。

そこで私たちは多くの人々から沢山頂
いたものを、近くの人々や助けを必要としてい
る人々と分かち合うことよって、又いずみ
の園では多くのお年寄りと共に歩む事によ
って分かち合うようにと赤ん坊のイエス様
は語っています。
心あたたまるクリスマスとなりますように。

祝
聖
降
誕

2008 Christmas



30年のあゆみと感謝

2008年11月3日

いずみの園創立 30周年記念式典

本年、いずみの園は創立30周年を迎えました。30年の長きにわたりご理解ご協力をいただき、また多くのご支援を賜りました皆様へ、深く感謝を申し上げます。

これを記念し、海外視察や記念誌発行など、色々な記念事業を計画いたしました。去る11月3日には多くのご来賓の皆様をお迎えして、創立30周年記念式典を開催いたしました。

記念式典の第一部では、当法人の理事でもある日本基督教団中津教会の廣安慎太郎牧師による記念礼拝が行われ、第二部では多田一三理事長からの挨拶に続き、新貝正勝中津市長(市介護保険課、徳永課長代読)、白川泰之県福祉保健部高齢者福祉課長、帯刀将人県社会福祉協議会長(大津留副会長代読)、西畑望日本基督教団九州教区議長からのご祝辞をいただきました。最後に富永健司介護保険総合ケアセンターいずみの園施設長より謝辞が述べられました。

第二部では社会福祉法人横須賀基督教社会館会長であり神奈川県立保健福祉大学名誉学長でもある、阿部志郎先



▲阿部志郎先生



▲木村弘美先生

生から「人生―愛し愛されて―」という題で記念講演をいただきました。また、夕方からは全職員を対象として、日本基督教団広島牛田教会の伝道師である、木村弘美先生より「魂のケアに可能と思われる一方法 ―触れる―」をご講演いただきました。

希望示し続け30年

いずみの園で記念式典

中津市



阿部氏(上)の記念講演を聞く人たち(下)



九州キリスト教社会福祉(長)の介護保険総合ケア(永健司施設長)の創立30周年記念式典が、中津市永添の同施設であった。

この後、記念講演があり、横須賀基督教社会館長で、神奈川県立保健福祉大学名誉学長の阿部志郎氏が「人生―愛し愛されて―」と題して講演。古今東西の逸話や、体験を踏まえながら、福祉についての持論を展開。特別養護老人ホームとして発足した。八八年に県内第一号のデイサービスセンターを設立するなど、事業を積極展開。ケアハウスマンション、クリニックなどを併設する地域の総合ケア施設に成長している。

▲大分合同新聞掲載記事より



▲いずみの園30周年記念誌

いずみの園創立30周年記念式典

記念講演「人生―愛し愛されて―」
講師 社会福祉法人横須賀基督教社会館 阿部 志郎 先生



30周年記念海外視察報告

スピリチュアルケアの原点

デザイナーふれあい館

介護員 小松 告代



いずみの園30周年記念事業の一環としてドイツに研修旅行に行かせて頂きました。ドイツ6大福祉団体のひとつである「デアアコニー」の福祉施設見学と、ユダヤ人大虐殺が行われた関連場所の訪問を通して、現在話題になっているスピリチュアルケアの原点を探そうというのが旅行の2大目的でした。

プロテスタント系福祉団体「デアアコニー」のミュンヘン支部には7つの入所施設があります。そのうちミュンヘン郊外のエーベンハウゼンにある4施設と、介護士訓練校の1つを今回訪れました。エーベンハウゼンは、ミュンヘンの南部に位置し、周辺人口約5,000人という静かで落ち着いた街です。晴れた日には、高台からアルプスの山々を見渡すことが出来ます。以前は保養地として栄えていたこの地は、現在、富裕層の住宅地となっています。施設の母体は、20世紀初めに設立されたサナトリウムでした。1948年多発性硬化症専門病院として

変換し、1968年介護施設になりました。当時の入所者は重度要介護者のみでしたが、1989年から1993年に総額3,300万マルクをかけて改築する

▲アウシュビッツ第2収容所



▲二重に施された鉄条網



▲エーベンハウゼンの老人施設



▲介護士訓練校にて



▲老人施設外観

うことです。展示されている部屋を訪れた時、その数の多さ生々しさに圧倒され、改

めて理解しがたい地獄が繰り広げられていたことを理解できました。被害者の一人にコルペー神父がいます。1894年貧しい宗教家族に生まれ、1917年ローマに行き聖母の騎士団を作りました。1930年から36年には日本の長崎にも来たそうです。アウシュビッツ収容所から一人の脱獄者が現れ、見せしめとして10人がランダムに選ばれ殺されることになりました。そのうちの一人が死にたくないと懇願した際、身代わりとして名乗りを上げたのがコルペー神父でした。身代わりが許されたことは奇跡的なことだったそうです。餓死刑を求刑されましたが2週間後独りだけ生き残り、結局毒を注射され牢獄の中で最期まで賛美と祈りの中、天に召されました。近年、ローマ法王がアウシュビッツ強制収容所を訪れ、コルペー神父が最期を迎えた牢獄にろうそくを灯されました。

際、サービス・ハウスを併設しました。特徴的なのは、近隣に住む方々のボランティアが盛んなことです。ボランティアによる施設訪問活動は、ホスピスケアに発展しました。ホスピスケアは24時間必要で施設職員だけで賄うことは困難なため、外からボランティアのホスピスヘルパーを呼んでいます。将来的には施設職員すべてが対応出来るように訓練中でした。建物には必ず教会があり、キリスト教理念のもと、人間尊重、自由死、尊厳死を尊重しています。地域との交流も盛んに行われており、建物の外窓が大きく近隣から丸見えになっている事には驚きました。施設の中でどんな事が行われているか周囲の人に解るように、また入所者が隔離されないようにとの配慮からだそうです。

介護保険導入後のドイツでは、今、介護の質が問われています。デアアコニーではいち早く介護士訓練校を設立しており、医学的にだけでなく、精神的、心理的、社会福祉的、身体的にケアできる看護レベルの介護員を3年半で養成しています。介護のクオリティ・マネジメントとして2000年10月に709001も取得しています。2002年から

今回の訪問で、人間の持つ残虐さと慈悲深さの両極端を目の当たりにしました。どんなに良い事をしようと心に思っても、その人の心の内に神の愛を感じ、平安でなければ実行にうつすことはとても難しいものです。今後の介護の現場でも本心に心からご利用者に愛を持って関われる仕事をしていきたいと思えました。

は全ての施設・事業所がMDK(医療保険サービス、要介護認定機関でもある)による審査を受けるようになりましたが、エーベンハウゼンの施設は、模範的

な施設だと賞賛されていました。要介護者の家族・保険者に対してケアの質の高さを示すことの必要性は、これから益々高まっていくでしょう。

シナゴグ(ユダヤ人教会)を訪ねましたが、全世界で20,000人の人がユダヤ人を助け出す為に活躍したそうです。その一人がかの有名な杉原千畝です。ドイツ政府から帰国を言い渡されましたが、出国列車に乗るその直前までユダヤ人にビザを書き続けました。ナチスに現場を見つかりと処刑される危険にあったこれらの人たちの存在はとても大きなことです。



▲コルチャック記念館にて(多田理事長を中央に参加者)

紅葉ドライブ

11月18日、ひかり5・6番地とヨハネ1番地にお住まいの入居者の方々が一緒に、紅葉ドライブへ出かけられました。皆様の日頃の行いが良いので、よい快晴でした。皆様この日を楽しまし、張り切って出かけられました。

目指す場所は、玖珠にある「鶴川温泉」。道中では目に鮮やかな紅葉が広がり、車の中で居眠りする暇もなかったことは、いうまでもありません。日頃は昼過ぎには、昼寝をされる方も、この日ばかりは、眠気が見られず、終始目がぱっちりとしていたそうです。帰られてから「きれいだ」と嬉しそうに話をしてくださる姿が印象的でした。

そうして、鶴川温泉に到着し、紅葉をバックに写真を撮ります。綺麗な景色に、自然と笑みがこぼれます。昼食には、だんご汁を召し上がられました。同じテーブルを囲まれることで、番地の垣根を越えた交流、職員と入居者の方との交流が図れた良い時間になったようです。



帰りは耶馬溪へ途中下車し、ダムの前でも一枚の放水の迫力はすごかったとのこと。さらに、車窓から風景を見ていた入居者の「こはうちん家の近く」と、つぶやかれた一言で、急速「車帰りドライブ」へと予定を変更しました。到着した玄関先で更に一枚。「もう、来れんと思つた。来れてよかった。」と言われながら、ご自宅を懐かしそうに眺められていたそうです。

『来てよかった。』という、この言葉を聞き、入居者の方の希望をかなえられた、もう一つの良い機会になったことで、このドライブがさらに有意義なものに感じました。

帰りは皆さんそれぞれにお土産を購入され、思い出と共に帰園されました。

いずみの園 特養事業部 介護課主任 重成 智子

風邪は万病のもと!

—高齢者の方へ

いずみの園訪問看護ステーションより

風邪(呼吸器感染症、インフルエンザを含む)予防8原則—

はじめに：風邪は、鼻やのどなどに急性の炎症が起こる病気で、症状には「鼻水、鼻つまり、くしゃみやみどりの痛み、発熱、頭痛などがあげられます。風邪の原因の大部分はウイルスへの感染です。風邪の予防や治療にはしっかりとバランスよく栄養をとることが大切といわれていますが、風邪予防に役立つような一般的な事項を列挙してみました。

些細なことですが、意外に効果的ですので、皆様も冬の風邪流行期に実行してみてくださいね。

1 (こが) (命脈) をとる

うがいで咽頭の有害微生物を取り除き、のど粘膜の加湿が予防に役立ちます。イソジン液等の殺菌剤を使えばより効果的。外出後や寝る前には特に「ガラガラ」しましょう。

2 寝る前には歯を磨く

歯(入れ歯)に挟まっている食物のかす(食物残渣)を取り除くことは、風邪より恐ろしい嚥下(えんげ)性肺炎(気管支に入った食物残渣により肺炎を引き起こす)を予防できます。

3 手を良く洗う

手に着いた有害微生物を取り除きます。石鹸をつけて流水で良く洗いましょう。トイレの後ばかりでなく、外出後、食前、顔や口に触れる前にも洗いましょ。

4 食後の2時間は横にならな

食後すぐ横になると、食道や胃に残っている食物のかす(食物残渣)が逆流して、気管支や肺に入り、知らない間に気管支炎や肺炎になりやすいためです。

5 その夜の最低気温に気をこ

夕方のテレビで放映される「明日の天気予報」等で、今夜(夜中、未明)の最低気温を知ることが出来ます。気温が下がれば当然体の外表面温度も下がり、免疫能力も低下します。また、湿度も下がるため、薄着や防寒不足の布団では風邪をひきやすくなります。季節の変わり目に風邪をひきやすくなるのは気温の変動が大きいからです。明朝気温が下がりそうだなと言ったときには、布団を一枚多く掛けるとか、下着を一枚多く着るとかの調整や、エアコンの設定変更等が必要になります。乾燥し過ぎも良くないので、加湿もしましょう。

6 人混みを避

流行時期の飛沫感染ウイルスや細菌が人の咳やくしゃみにより拡散して感染することを避けるという意味です。もちろん風邪にも注意を。

7 寝不足、過労、アルコールの過飲、運動不足等の不摂生をしない

これは当然のことです。栄養バランスのくずれ、睡眠不足、疲労などが重なってウイルスへの抵抗力が低下し、風邪をひきやすくなります。

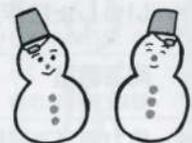
8 インフルエンザの予防接種を

予防接種は厚生労働省が指定したその年(該当年度の)予測株を接種するわけですが、ウイルスの抗原性が変化して予測が当たらないこともあります。しかし、予防接種をすることで、一般的には確っても軽症ですみます。

以上、いつでもどこでも簡単に実施できるものと、比較的美証されているもののみを選んでみました。

実践してみたいけれど、不幸にも風邪をひいてしまった方は、早急に医療機関を受診してくださいね。長引かせると他病の原因にもなります。どっそお大事に!

いずみの園での 実習を通して学んだこと



中津ファビオラ看護学校
看護学科 12回生 20番

田尻 貴代美

学校の講義で特別養護老人ホームや老人保健施設では、個室やユニットケアへの移行が始まったということを学んだが、実際どのような構造であるのか、またどんな雰囲気であるのか、なかなか想像が出来なかった。今回いずみの園で実習させていただき、小人数のしかも家庭的な介護のあり方を見て、とても感動した。今まで、患者中心のケアをと思いつながら援助を行ってきたが、病棟ではどうしても業務中心の看護となってしまう。看護と介護の大きな違いがあると言ってしまうえばそうかもしれないが、看護も介護もその人に寄り添い、尊重するというところでは共通するものだと思う。ユニットケアという援助のあり方は、本当に個人を尊重した援助の方法であり、担当する介護職とは、なじみの関係を作れ、そこでは利用者にとっては家族となる。みんなが集う場所でご飯を炊いたり、おみそ汁

を作ったり、また、プラスチックの共有のお茶碗ではなく、自分のお茶碗や湯呑みを使用でき、とても家庭的な雰囲気であった。入所者の方にも洗濯物を干したり、たたんだりを行っていた。自分の役割としての自覚もでき、生きがいへの援助も行っていった。そういう生活が入所者にとつて、どれだけ安心でき、自宅とは違う環境の中で、混乱せずに過ごせるかということは、毎日の生活というだけに、とても大きな違いだと思う。重度の方に対して、一緒に包丁で食材を切ったりする音、洗濯物を干す音が聞こえることで、自然に家庭的な雰囲気を感じていただけに、本当に一人一人を大切にされた援助を行っているということ、また利用者の今まで生きてきた生活を否定せず、家庭にいた時と同じように生活できるように援助をしているということを感じることができた。

特別養護老人ホームでの看護師の役割は、第一に入所者の健康管理である。そのためには、常日頃から観察と家族や介護福祉士、理学療法士、生活相談員などとの連絡調整がとても重要である。看護師が少ない中で100名以上の入所者の看護や援助を行っていくためには、介護職の協力なしには不可能であるため、看護職と介護職がそれぞれの専門性をいかして協働するという連携が何よりも重要であるということを感じることができた。そして他職種と統一したケアの大切さと信頼関係の必要性を改めて学ぶことができた。

今回の実習では、自宅で生活できない高齢者に対していかにその人らしく施設で生活できるように関わらなければならぬかを考えさせられた。そして高齢者の尊厳を守る関わり、生きがいが見出せるための関わりが大切だと学ぶことができた。

3日間という短い期間であったが、指導者をはじめ職員の方より様々なことを教えていただき、医療と社会福祉が連携していくことの大切さを実感することができました。お忙しい中、実習させていただきありがとうございます。



福祉のつどい(障がい者等相談支援充実・強化事業)

障害者生活支援センターエマオ
主任 川端英宏

2008年12月7日(日)に、中津市教育福祉センターで「福祉のつどい」が開催されました。これは、障がい者自立支援臨時特別対策事業に基づき、相談支援事業の強化充実のため、中津市及び中津市障害者相談支援事業所(エマオ他2事業所)が行ったものです。

平成18年4月から「障害者自立支援法」が施行され、その定着を図るため、平成19年度から障がい者自立支援臨時特別対策事業が行われていますが、残念ながら一部の障がい者等に情報の周知が充分ではありません。そこで、障がい福祉施策の説明会や講演会を通し、福祉サービスを利用していない障がい者の把握、地域の相談支援体制の充実・強化、各種情報の周知徹底、自立支援法の速やかな定着を図ることを目的として、この福祉のつどいを計画しました。

中津市より委託を受け、中津市教育福祉センター内の福祉相談室において、相談支援事業を行っている「障害者生活支援センターエマオ」も、ともに地域で暮らす「事を共有したい」と考え、障がい者(見)や保護者、関係者との交流促進、障がい者福祉施設の紹介やパンフレット配布、3障がいに対する福祉相談会等の準備・運営に関わりました。

開会式では新貝中津市長から来賓挨拶をいただき、矢野大和さんの福祉講演会「必要とされるよるこび」や福祉相談会「福祉事業所の展示会・即売会」などを実施しました。このつどいに、中津市の福祉に関わる施設や事業所のご利用者及び職員、当事者団体、ボランティアの方々など、230名を超える方の参加がありました。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



LSA(ライフサポートアドバイザー)より

いずみの園が中津市より「中津市高齢者世話付き住宅生活援助員派遣事業」の委託を受け、シルバーハウジング事業として平成17年10月より上如水地区で、対象者10世帯の生活支援・安否確認・緊急時対応など、安全で快適な生活のサポートを行っています。地域の方々からは「高齢になっても地域社会の中で自立して安全快適な生活を営むことが出来る」この制度に、高い関心が注がれています。

また、近隣地域のコミュニティ作りを図るお手伝いとして、月に一度「生きいき健康教室」を開催し、好評をいただいております。健康・安全生活に役立つ情報など、講師を招いてのお話や、身近なものを使ったストレッチや健康体操、作品作りなどのレクレーションもあり、毎回多数の参加者をお迎えしています。

11月20日に開催した第37回生き生き健康教室では、毎日報道されている「振り込め詐欺」について、中津警察署にお願ひし、生活安全課の原田克宣警部にご講義をいただきました。中津市の現状や注意喚起などのお話に加え、リアルな再現音声を聞き、参加された皆様は「ひとごとでは無い、身近な話だ」「まわりの人にも伝えなければ」と、啓発された様子で感想を述べられていました。お話を聞いた後はホッと一息のティータイムを持ちます。自治会長さんや民生委員さんも参加していただき、地区の防災・防犯の話や、近況などのお話しもします。

今後も地域の皆様の一助となれるよう、お役に立てる企画を提案していきたいと考えています。毎月第三土曜日に開催していますので、興味のある方はお気軽にお訊ねください。

上如水シルバーハウジング
LSA 戸次(べつき)広美

上如水 シルバーハウジング 2008年度 年間予定表 生きいき健康教室 毎月 第三土曜日開催

～楽しく健康維持を図りましょう～

- | 月 | 行事・活動計画 |
|----|--|
| 4 | お花見ドライブ
藤の花の観賞会をいっしょにしませんか。 |
| 5 | 気功を体験しませんかI
ゆっくりした動きで筋力強化 |
| 6 | 食中毒の予防と食品の保存について
正しい知識を教わりましょう。—北部保健所— |
| 7 | 体を使ってレクリエーションを楽しみましょう
楽しく動いて心もリフレッシュ |
| 8 | 陶器作り
自分の手作り器にチャレンジ |
| 9 | 防災について
地震・火災 もしもの時の備え —中津市・社協— |
| 10 | いずみの園フェスタへ参加しませんか。
楽しいイベントへようこそ |
| 11 | 振り込め詐欺にご注意!
騙されないために知っておきたい事 —中津警察署— |
| 12 | いっしょに作ってみませんか。
今、流行の布ぞうりを制作 |
| 1 | 陶芸教室
置物・飾り物作陶 |
| 2 | 体力測定で健康維持に努めましょう。
自分の体力・筋力を知って健康増進 |
| 3 | 気功を体験しませんかII
毎日つけて筋力維持 |



▲陶芸教室での作品



▲おしゃべりはずむティータイム



▲「振り込め詐欺」チラシを説明する原田警部

今年から11月11日(いい日、いい日)が「介護の日」とされました。これは厚生労働省が皆さんのご意見をもとに、「介護についての理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者及び介護家族を支援するとともに、これらの人たちを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する観点から、高齢者や障がい者等に対する介護に関し、国民への啓発を重点的に実施するための日」と決めたものです。

ここ大分県でも11月11日(介護の日)に向けた取り組みとして、大分県老人福祉施設協議会がポスターを作成し、関係機関・団体等へ配布することによって、介護や高齢者の福祉に対する啓発活動を行うこととなりました。

ポスターは県内各施設より「笑顔の写真」を募集し、利用者と職員の写真、「11/11 介護の日」の文字をつくるというものです。いずみの園でも写真を数点応募しましたが、このうちの1枚が採用され、ポスターの一部を飾っています。ポスターは県内の公民館、小・中学校をはじめ市町村行政、社協などに配布・掲示されましたので、探してみてくださいいね!

ご存知ですか? 11月11日

いい日、いい日 毎日あったか介護

介護の日

「介護」でお困りのときは、お住まいの、お近くの高齢者福祉施設や相談センターへお気軽にご相談ください。

大分県老人福祉施設協議会

野菜パーティー

いずみの森の「森の農園」では今日も沢山の野菜たちが育っています。ご入居者が丹精しているそれぞれの畑でも、いろんな野菜づくりにチャレンジされています。

「これは初めてみた種だけど、育ててみたいので相談のつてください」「根菜なので、少し深く土を耕して欲しい」などのリクエストにお応えしながら、共に楽しませていただいています。皆さんの畑の横には、森のスタッフが手がけている畑もあります。計画をたてて栽培し、育った野菜は新鮮なうちにご入居者へお届けして、とても喜んでいただいています。

今年の夏も森の農園で収穫した野菜をメインに、ご入居者をお招きして「野菜パーティー」を開催しました。森のスタッフが手作りの料理を、buffet形式で召し上がっていただきながら、お喋りを楽しんでいただきました。他部署職員にもいずみの森の様子を伝えたいと



- ### 野菜パーティーのメニュー
- ・チキンと野菜のスパイシーカレー
 - ・茄子とひき肉のマイルドカレー
 - ・ハッシュドビーフ
 - ・カボチャのサラダ
 - ・オクラのあかガアえ
 - ・フルーツマト
 - ・梅酒ゼリー
 - ・シーザーサラダ
 - ・コーナーチャップル
 - ・焼きなす
 - ・タネなしスイカ
 - ・ヨーグルトゼリー



思い案内したところ、ケアマネージャーや事務職員など、普段なかなかご入居者と交流の機会が少ない職種からも参加がありました。食の安全が問題にされる昨今ですが、「野菜が育ちゆく過程を身近に確認できるので、これほど安心なことはない！」農園が、あつて良かった」とご入居者からも大鼓判をいただき、野菜作りに関わっているスタッフはじめ、嬉しい一日となりました。

チャレンジ！おおいた国体

9月27日から10月7日の間、ご大分県において第63回 国体(国民体育大会)が開催されました。大分での国体は「チャレンジ」おおいた国体と呼ばれ、昭和41年の第21回(剛健国体)に継いで、2回目の開催となります。



小兵の選手が自分より大きな選手を投げ飛ばすのを観て、驚くやら感心するやら。参加されたご入居者の皆様と一緒に、大はしやきしてしまいました。帰路には安心院(あじむ)を経由して、秋の景色を楽しみながら戻ってきましたが、貴重な体験ができた一日でした。

催されましたが、めったに無いチャンスなので、いずみの森でもご入居者の皆様にお声かけし、国体観戦に行きました。サッカーやバスケットボールなど、行ってみたいスポーツは沢山ありましたが、大分県は往年の名横綱「双葉山」や現役力士を輩出している地ですので、近郊の宇佐市で開催される「相撲 競技に決定」。

INFORMATION

- 所在地 大分県中津市永添上ノ原2765
- 交通 JR日豊本線「中津」駅より車で約15分
- 開設年月日 2006年2月1日
- 施設類型 住宅型有料老人ホーム
- 土地の権利形態 社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団所有
- 住居の権利形態 利用権方式
- 事業主体・運営管理 社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団
- 構造・規模 一戸建て(平家造り)8棟 (1LDK6棟、2LDK2棟)および管理棟1棟
- 入居時の要件
 - 一人入居の場合、60歳以上であること。ご夫婦で入居の場合、どちらか一方が満60歳以上であること。
 - ご夫婦以外で入居の場合、両者の関係が三親等以内の血族もしくは一等親以内の姻族であり、両者とも60歳以上であること。健康保険(医療保険)、介護保険に加入されていること。
- 介護保険 在宅サービス利用可
- 在宅数 8棟
- 敷地面積 78.37㎡～92.13㎡(駐車場含む)
- 居室タイプ 1LDK6棟、2LDK2棟、全棟一戸建て
- 入居時にかかる費用
 - 入居一時金 Aタイプ(2LDK) 800万円
 - B・Cタイプ(1LDK) 650万円
- 毎月かかる費用
 - 合計1人入居 100,000円～
 - 2人入居 120,000円～
- (内訳)
 - ・家賃 Aタイプ(2LDK) 100,000円
 - B・Cタイプ(1LDK) 80,000円
 - ・管理費 1人 20,000円
 - 2人 40,000円
- ◎お食事を希望される方には、配食サービスをお承っております。(朝食350円、昼食700円、夕食600円)
- ◎その他、各住戸内の電気代、電話代、新聞購読料などは各自別途負担となります。
- お問い合わせ ☎0979-33-7070
- 電話受付 9:00～17:00(無休)
- http://www.izuminosono.jp/izuminomori

編集後記

年末年始は何かと忙しないですね。「多くの用事に追われ暇が無い」「せかせかして落ち着かないこと」を「忙しい」と言うのだそうですが、見ての通り「この字は「心」と「亡」で成っています。「あまりに多くの事に囚われ、自分の事はかりが中心になっていると、自分以外の人やものを思い遣る心を亡くしてしまう」という戒めでしようか。反省すること多しです。

問安の間達き我をも惹きむ
御身の情けをいかに報いん
淳子

笑顔と元気をお届けする 健やか倶楽部[すこやかくらぶ] Vol.40 に掲載されました

「健やか倶楽部」誌は、株式会社アサヒ緑健さんの情報誌として発行されています。株式会社朝日緑健さんは「心と体のトータルヘルスケア」をテーマに、大麦若葉を主原料とする青汁を通して、健やかな食生活を提案されている企業です。また、心身ともに健全なライフスタイルを実現すべく、スポーツ・地域活動など幅広い支援事業を推進、社会貢献活動にも取り組まれています。

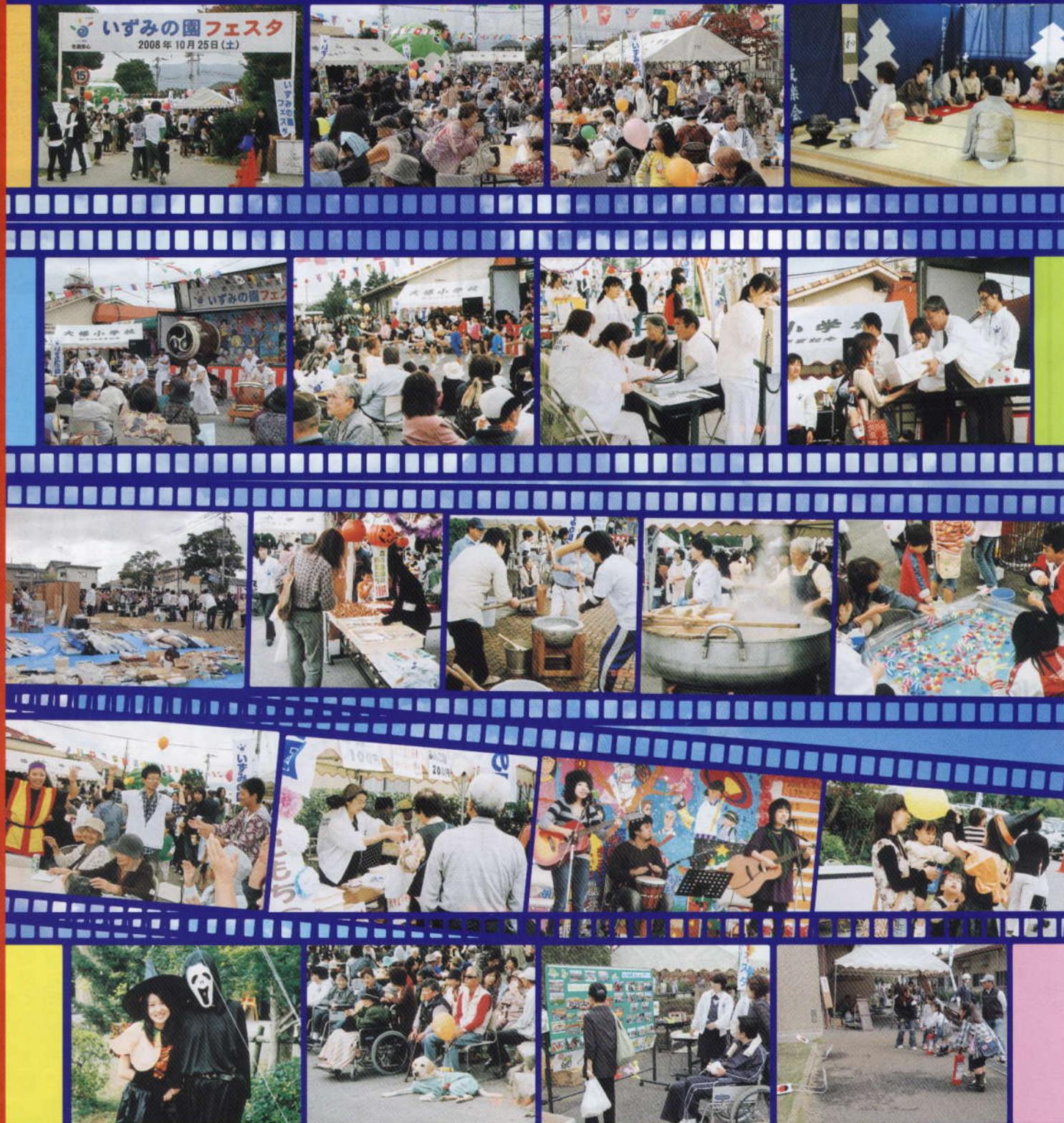
この誌面に「クリニックス、リハビリセンター」併設、安心とつながるおいの一戸建て未来型有料老人ホームとして、シニアレジデンスいずみの森がカラーページで紹介されました。私共の取り組みをご紹介いただく機会を与えられ、心から感謝申し上げます。

いずみの園フェスタ

ご来場ありがとうございました。

去る2008年10月25日(土)に創立記念感謝祭「第11回いずみの園フェスタ」を開催いたしました。いずみの園の創立30周年にあたる今年は「地域の方々をはじめ、ご来場いただく皆様にもっと楽しんでいただこう!」と、フェスタ実行委員会メンバーで何度も話し合いを持ち、準備してきました。バザー会場はより広く、ステージ出演団体はもっと多彩に、屋台は質・量ともに増やして、当日に臨みました。お陰さまで昨年より更に多くの3,000人近いお客様をお迎えし、スタッフ一同嬉しい悲鳴をあげています。

フェスタ開催を支えてくれた154人のボランティアさん、関係諸機関の方、その他ご支援いただいた皆様のお陰と、心から感謝しております。地域の安心のシンボルとして、社会に貢献できるいずみの園であるよう、これからも努力してまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。



いずみの園だより

編集・発行 社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団 介護保健総合ケアセンター いずみの園 企画課・広報委員会 〒871-0162 大分県中津市赤瀬2744 TEL 0979-23-1616(代)

http://www.izuminosono.jp E-mail sogocare@deluxe.ocn.ne.jp